

第3学年 外国語活動指導案

日時：平成 年 月 日()第 校時

場所：3年教室

指導者：HRT JET

児童数：男 名, 女 名

1 単元名
「どこに行きたい？」

2 指導の立場

(1) 子どもの実態

外国語活動に興味をもって積極的に活動する子どもが多い。ALTとの授業では、言葉の意味が分からない、発音の仕方が分からないという気持ちはあるようだが、一生懸命耳で聞いた通りに真似しようとしていたり、ゲームで困ったときにも教えてもらって英語で話そうとしていたりしている。これまでも、低学年から親しんでいるごっこ遊び的なゲームをたくさん取り入れて、楽しく活動できるようにしてきた。

1学期の「レストランへ行こう」では、チャッツを使って“Are you ready to order?”や“I’d like some ~, please.”を上手に言えるようになった。しかし、自信のない子どもは声が小さくなりがちである。本単元では、新しい英語表現ばかりではなく、今までに使ってきた表現も多く取り入れることや、相手の言ったことを聞き返すことを大事にして、どの子どもも会話を楽しめるようにしたい。

(2) 本時の指導にあたって

【必然性のある活動の設定】

本時は、駅(色)で行き先や枚数を伝えて、切符の代金を聞いて支払う場を設定した。自分が行きたい所や必要な枚数をきちんと伝えないと切符が買えないことで、活動への意欲が増すように考えた。また、今までに学んだことのある20までの数字を使うために、5枚まで買えるようにすると共に、料金を一律にしないようにした。

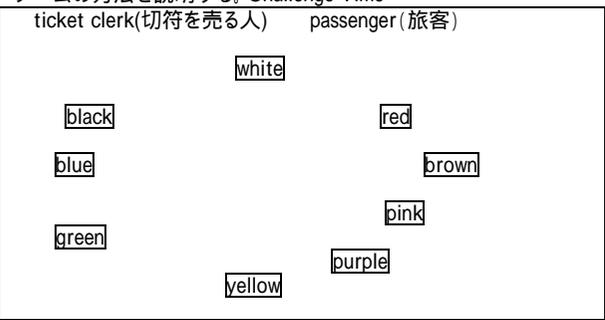
【教材教具の活用方法の工夫】

切符を買う喜びもあるが、実際に電車ごっことして移動することにも楽しさがある。9カ所の駅(色)を設け、そこへ到着したら切符を出し、代わりに活動カードにシールを貼らせるようにしたい。また、場面設定をはっきりさせるために段ボールで作った電車を使う。駅の数多くすると共に、何人かで旅行するつもりで切符を5枚まで買えるようにするため、お金を十分用意し、旅客の意欲に対応できるようにした。

3 本時の目標

行きたい場所への切符を買う活動を通して、“Where would you like to go?”や“I’d like to go to ~.”を使ってコミュニケーションを楽しむ。

4 本時の展開(4/4)

活動の流れ	主な活動内容		指導・援助 評価規準	
	児童の活動	教師の活動		
		HRT	JET	
Hello Time	English Leader: Let 's start English! Yes, let 's. Hello, Ms. Miura. Hello, Ms. Tokoro.	Hello, everyone.	Hello, everyone.	・この単元の最終時なので、できるだけChalleng Timeに時間をかけられるようにすばやく行う。
Short Speech	・内容を推測しながらショートスピーチを聞く。	Ms. Tokoro, short speech, please. ・子どもと一緒に聞き、分かりにくいところは“Once more, please.”と聞き返す。	Short Speech. ・電車での旅行について	・“Once more, please.”を使いおさえない言葉に着目できるようにする。
Today 's Aim	・ALT と HRT スキットを見て、本時の表現や課題をつかむ。	・本時のモデルスキットを見せ、本時の課題へとつなげる。 Today 's aim is this.	Today 's Aim. And Today 's Points. Please watch our skit. 本時の活動のスキットを見せる。	・本時の課題やポイント(クリアボイス・レスポンス)がつかめるようにスキットを見せる。
切符を買って、行きたい所へ行こう。				
Today 's Points		Today 's point is this. Clear voice and response.		
Practice Time	・本時使う表現を練習する。 チャッツで復習したり、ゲームでのやりとりを練習したりする。	Practice Time. ・本時の表現部分を繰り返し練習できるようにする。 ・子どもと一緒に練習する。	Practice Time. ・やりとりをリードする。	・言い方が分からない子どもに寄り添い、一緒に練習する。
Challeng Time	・ゲームの方法を確認する。 A: I 'd like tickets, please. B: O.K. Where would you like to go? A: I 'd like to go to blue station. B: Blue? O.K. A: I 'd like three tickets, please. B: Three? O.K. A: How much is it? B: It 's 12 dollars. A: 12 dollars? O.K. Here you are. B: Thank you. Here you are. A: Thank you. Good bye.	・ゲームの方法を説明する。Challenge Time ticket clerk(切符を売る人) passenger(旅客) 	・一緒に活動したり、“Help me.”とやっている子どもを援助したりする。 ・Today 's pointを意識して行っている子どもをほめる。	・初めに切符を買う駅を指定する。 ・活動を前半・後半に分け、passenger と ticket clerk の両方を体験できるようにする。 ・passenger はどこ行きの切符を買ってもよいこと、5枚まで買って(5人で旅していることにしてもよいことを示し、意欲付ける。 ・前半のよい姿を、交代前に紹介し、後半に生かす。
Treasure Time	・今日の活動をふり振り返り、コメントを聞く。 Thank you very much. See you.	Treasure Time ・一生懸命聞いたり話したり、教えたりしていた子どもを認め、広める。 English leader, please. ・子どもと一緒に挨拶する。	Treasure Time ・英語表現や発音のよかった子どもを認め、広める。 See you.	・JET は技能面について、HRT は態度面について評価する。
Good-by Time				・駅員(切符売り)と旅客の役になって、相手の言葉を一生懸命聞き取るうしたり、話したりしている。

5 単元指導計画：全4時間

(1) 目標

・行きたい所を伝えたり聞いたりする活動を通して、“I'd like to go to ~.”や“Where would you like to go?”の表現に慣れ親しむ。

(2) 指導計画

時間	1	2	3	4 本時
目標	色集めゲームを通して、英語での行きたい所の言い方に慣れ、“I'd like to go to ~.”の表現に慣れ親しむ。	カラーバスケットをすることを通して、“Where would you like to go?” “How much is it?”の表現に慣れ親しむ。	グループで旅行すごろくをすることを通して、切符売り場での会話表現に親しむ。	行きたい場所への切符を買う活動を通して、“Where would you like to go?”や“I'd like to go to ~.”を使ってコミュニケーションを楽しむ楽しむ。
学習活動	挨拶をする。 歌を歌う。「Rainow Song」 ショートスピーチを聞く。 本時の課題をつかむ。 “I'd like to go to ~.”を使って、色集めゲームをしよう。 色の言い方を復習し、練習する。 色集めゲームで使う表現を練習する。 A: I'd like to go to blue station. B: Blue station? A: Yes. Let's go to blue station! B: Yes, let's. 色集めゲームをする。 活動を振り返る。 終わりの挨拶をする。	挨拶をする。 歌を歌う。「Rainow Song」 ショートスピーチを聞く。 本時の課題をつかむ。 カラーバスケットをしよう。 数の言い方と前時の表現(I'd like to go to ~.)を復習し、本時の表現(Where would you like to go?)を練習する。 カラーバスケットで使う表現を練習する。 Everyone: Where would you like to go? A(円の中心): I'd like to go to blue station. How much is it? JET: (price 付き切符を見せる) Everyone: It's 11 dollars. カラーバスケットをする。 (例) 上のような場合、自分のカードの中に11ドルの青行き切符が入っている子のみ移動する。 活動を振り返る。 終わりの挨拶をする。	挨拶をする。 歌を歌う。「Rainow Song」 ショートスピーチを聞く。 本時の課題をつかむ。 旅行すごろくをしよう。 前時の表現(Where would you like to go? I'd like to go to ~.)を復習し、本時の表現(I'd like two tickets, please.)を練習する。 旅行すごろくで使う表現を練習する。 (B:さいころをふる) A(B以外): Where would you like to go? B: I'd like to go to Aichi . A: O.K. B: I'd like two tickets, please. A: O.K. 旅行すごろくをする。 活動を振り返る。 終わりの挨拶をする。	挨拶をする。 ショートスピーチを聞く。 本時の課題をつかむ。 切符を買って行きたい所へ行こう。 本時の表現を練習する。 A: Where would you like to go? B: I'd like to go to blue station. A: Blue station? O.K. B: I'd like three tickets, please. A: Three ? O.K. B: How much is it? A: It's 12 dollars. B: 12 dollars? O.K. Here you are. A: Thank you. Here you are. B: Thank you. Good bye. ゲームをする。 活動を振り返る。 終わりの挨拶をする。
文化言語	・I'd like to ~.に go to ~を付けることで、行きたい場所を表現できることを知る。	・11以上の数の発音に慣れ親しむ。 ・値段の言い方に慣れ親しむ。	・I'd like to ~.とI'd like ~.の違いを確認しながら、切符売り場での会話表現に慣れ親しむ。	・切符売り場での行き先の言い方や支払いの仕方に慣れ親しむ。
音声表現	white/black/red/yellow/pink/blue/purple/orange/brown/green I'd like to go to ~. Let's go to ~!	eleven/twelve/thirteen/fourteen/fifteen Where would you like to go? I'd like to go to ~. How much is it? It's ~ dollars.	Where would you like to go? I'd like to go to ~. I'd like ~ tickets, please.	Where would you like to go? I'd like to go to ~. I'd like ~ tickets, please. How much is it? It's ~ dollars.
評価規準	・JETの発音を聞き、I'dをはっきり発音しようとしている。 ・単語をリピートして、相手の言葉を確認しようとしている。	・Where would you like to go?をはっきり発音しようとしている。 ・正しく聞き分けて活動しようとしている。 ・意欲的に大きな声で話している。	・正しく聞き分けて活動しようとしている。 ・意欲的に大きな声で話している。	・駅員(切符売り)と旅客の役になって、相手の言葉を一生懸命聞き取ろうとしたり、話したりしている。
教材	・CD ・色カード(大)	・CD ・色カード ・料金カード(大) ・カラーバスケットカード	・CD ・dice ・ボードゲーム用紙(日本一周) ・こま(人間の数が2~4まで分かるもの)	・駅の色(9種) ・切符(9種) ・料金表(各駅用) ・段ボールの電車9個 ・シール ・買い物用お金(ドル) ・旅行カード